

いなむら市長の

「ひと咲き まち咲き あまがさき」

9月26日(火) 放送分

放送時間 8:00～、12:45～、16:00～

再放送 9/28(木) 8:00～、12:45～、16:00～

9/30(土)、10/1(日) 17:00～

テーマ 「**尼崎市と鞍山市の国際交流**」
(**尼崎市小学生代表団**)

林 皆さん、こんにちは。林順子です。月に1度、お届けしていますこのコーナー、今回は8月上旬に中国鞍山市を訪問した尼崎市小学生代表団の皆さんをゲストにお迎えし、尼崎市と鞍山市の国際交流についてお話していきたいと思います。

では、代表団の皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

代表団 よろしくお願ひします。

林 それでは最初に、友好都市提携を結んでいます中国鞍山市をご紹介させていただきますと、鞍山市は中国東北部にある遼東(りょうとう)半島の付け根にあって、緯度は日本の青森県と同じくらいです。「鞍山」の名前は市街地の南部に2つの山が連なっていて、その山と山の間が馬にのせる鞍に似ていることから名づけられました。人口はおよそ339.6万人、尼崎市のおよそ7.52倍です。また、面積は9,252k㎡、尼崎市のおよそ184倍になります。鉄鋼の街、豊富な鉱物資源を背景に、中国の重要な鉄鋼工業基地です。また、尼崎市と鞍山市の歴史を紐解いてみましょう。昭和47年、1972年に日本と中国の間で国交が正常化しました。そして、全国的に日本の都市と中国の都市との友好都市提携の気運が高まってきました。友好都市提携を結んだのは、そのおよそ10年後の昭和58年、1983年2月2日です。「姉妹」都市という呼び名は長幼の序があることから「友好」都市となりました。さて、友好都市提携を行ってからは、鞍山市からの派遣団を受け入れたり、尼崎市から派遣したりと両市の間で交流を行ってきました。

それでは、小学生代表団として鞍山市へ行ってこられた8人の皆さんに自己紹介と代表団に参加しようと思ったきっかけなどをお聞きしたいと思います。

それでは、岡本さんから順にお願いします。

岡本 武庫東小学校5年生の岡本 優です。ホームステイをしたり、日本と中国のちがいをさがしてみようと思い、代表団に参加しました。

小川 立花北小学校6年生の小川 莉央です。代表団に参加しようと思った理由は、修学旅行でリトルワールドというところに行って、中国の文化を学んだけれどあまり学ぶことができなかったので、実際行って確かめてみようと思ったからです。

小池 立花北小学校6年生の小池 希実です。私は尼崎市少年音楽隊に入っていますが、中国鞍山市との友好都市となったきっかけが、その音楽隊だと知って参加してみようと思いました。

高浦 武庫の里小学校6年生の高浦 聡実です。私が、中国に行こうと思った理由は修学旅行で行ったリトルワールドで、色々な外国の文化を学べたので、中国に行ってみたくと思ったからです。

徳田 武庫小学校6年生の徳田 拓音です。僕は、幼稚園の3年間、海外で過ごしていたことがありました。そこで、現地の友達とたくさん遊び、楽しかったので今回の中国へのホームステイに興味を持ち、受けました。

中村 金楽寺小学校の6年、中村 優希です。日本でも文化があるように、中国でも独自の文化があると考え、知りたくなったからです。

南條 大庄小学校5年、南条 清斗です。一昨年の家族旅行で台湾に行ったので、中国と日本や台湾との違いを知りたかったからです。また、餃子の作り方や中国の小学校の様子を知りたいと思ったからです。

明見 立花南小学校6年、明見 菜々子です。私の家はホストファミリーを経験していて、ホームステイに興味があったので、今回参加しました。

林 それでは、小学生代表の皆さんに鞍山市を訪問した時のお話をお伺いします。鞍山市を訪問して、印象に残っていることは何ですか。大庄小学校の南條さん。

南條 向こうの小学校で、披露してくれた論語や民族楽器の演奏が素晴らしく、きちんと揃っていてすごいと思いました。それに、その後の二胡の演奏や卓球などの体験も初めてで、新鮮でした。さらに、玉仏苑の玉仏や鉄鋼博物館の展示が大きく、迫力がありました。また、ホストファミリーとも夜の玉仏苑で、観覧車に乗り夜景がきれいでした。

林 そうですか、思い出に残る珍しい体験ができてよかったですね。

林 さて、中国と日本の習慣の違いなどで、驚いたことはありますか。立花南小学校の明見さん。

明見 ホストファミリーのお家のお風呂とトイレと洗面所の仕切りがないところと、日本ではない夜市があるところと、食事はお粥が主流なところと、日本は食事を残さな

いのがマナーだけど中国は残すぐらいが良かったので、驚きました。

林 そうですか。つづいて、武庫の里小学校6年生の高浦さんはどうですか。

高浦 私が驚いたことは、シャワーにサンダル履きのまま入ることと、出された料理を全部食べると足りないと思われることです。

林 そうですか、日本での生活とは違うことが多くて、いろいろ勉強になりましたね。

林 さて、2泊のホストファミリーと過ごした感想はいかがでしたでしょうか。武庫東小学校5年生の岡本さん。

岡本 家族の人も、卓球や、古詩の先生も、すごく優しくしてくれて楽しかったです。

林 そうですか。つづいて、立花北小学校6年生の小池さん。

小池 ホストファミリーの人たちがとても優しく、明るくてよかったです。言葉はほとんど通じなかったけど、ジェスチャーや外国語変換アプリでコミュニケーションが取れました。私は中国語でありがとう「謝謝」を沢山言いました。笑顔やジェスチャーで気持ちが伝わることを体験できてよかったです。

林 そうですか、言葉が通じなくても心が通い合うことで仲良くなれたこともよかったですね。

林 さて、今回の経験をどのようにいかしていきたいですか。金楽寺小学校6年生の中村さん。

中村 ニュースでは悪い所だけ放送されている事があるから、確かめに行って真実を世界に教えて行きたいと思いました。

林 そうですか、実際に行ってみて本当のことがわかることが多いでしょうね。

林 それでは、最後に全体を通して感じたことは何でしょう。立花北小学校6年生の小川さん。

小川 人との関わりを深めるには、言葉ではなく「仲良くなりたい」という気持ちが大切だということを学びました。この学びをいろいろな人に知ってもらいたいです。

林 はい。かわって、武庫小学校6年生の徳田さん。

徳田 僕にとっては、外国でホームステイをすることは大きなチャレンジでした。でも、チャレンジしたおかげで、たくさんのことを学びました。これからも、積極的にどんどんチャレンジしていきたいと思います。

林 はい、いろんなことにチャレンジして貴重な思い出をつくることができましたね。

林 今回は、尼崎市小学生代表団8人の皆さんをゲストにお迎えし、尼崎市と鞍山市の国際交流についてお話いただきました。皆さん、ありがとうございました。

代表団 ありがとうございました。

林 それでは、次回の放送もどうぞお楽しみに。

以 上